

経営比較分析表（令和5年度決算）

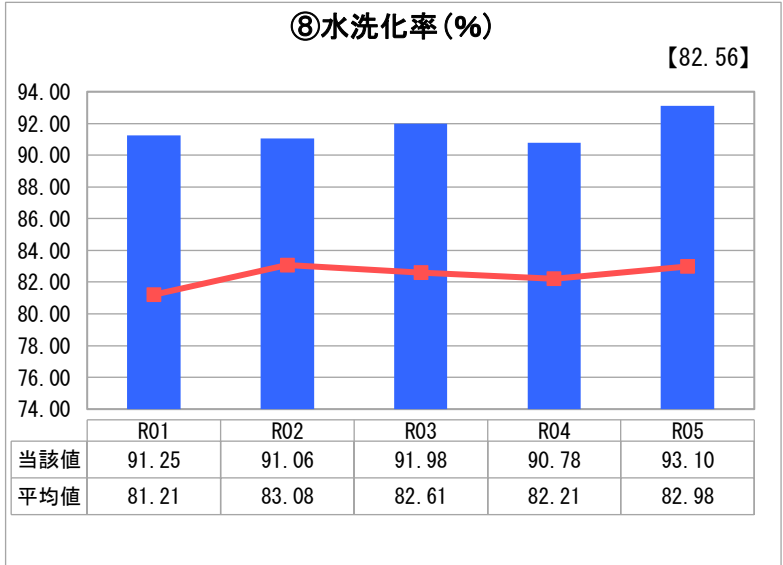
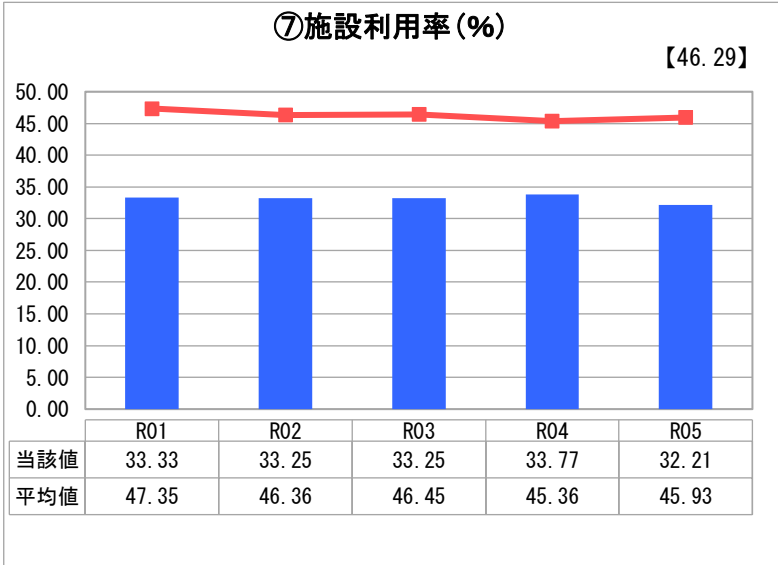
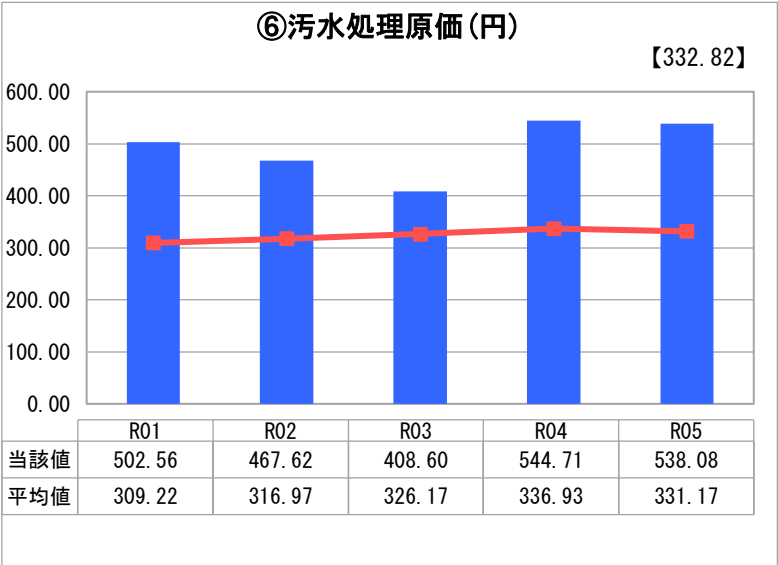
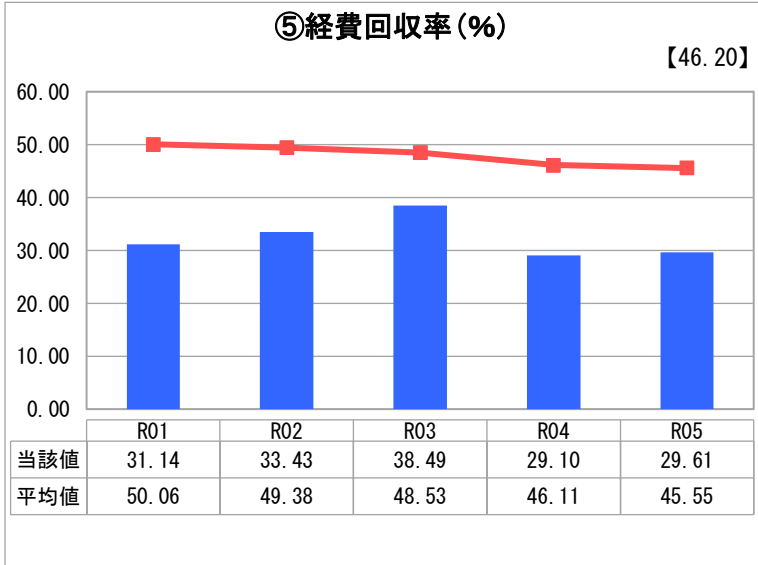
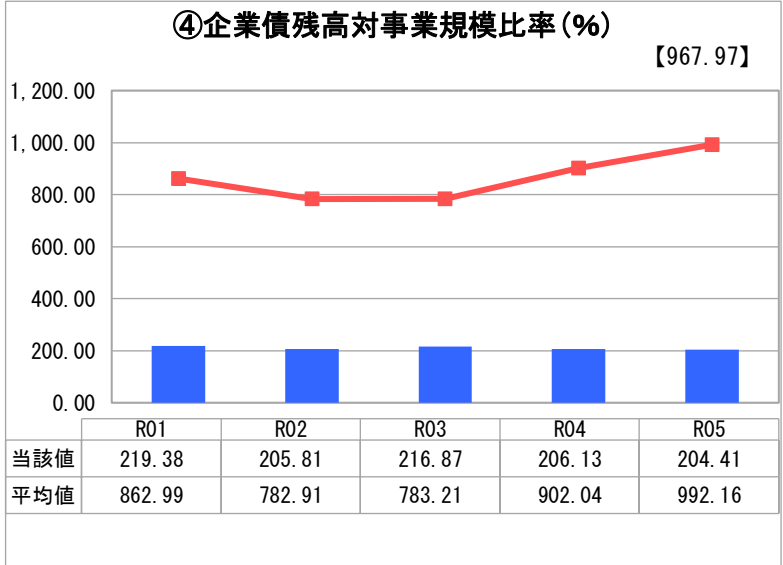
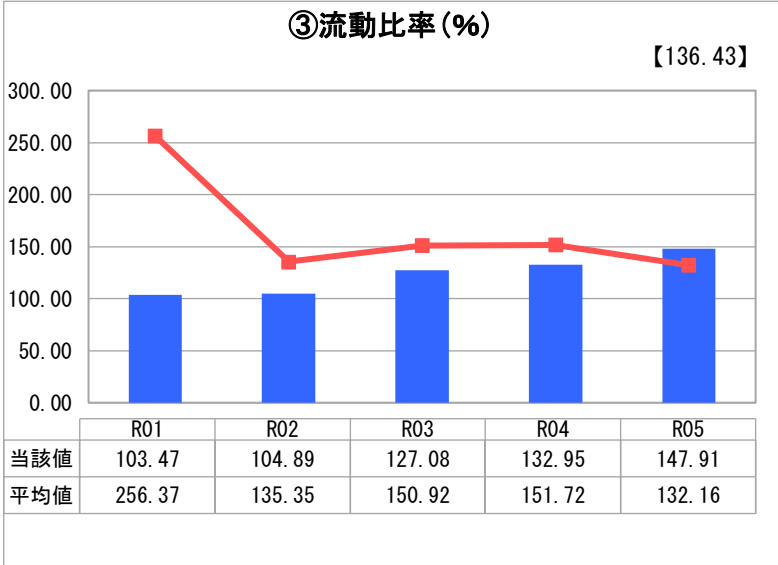
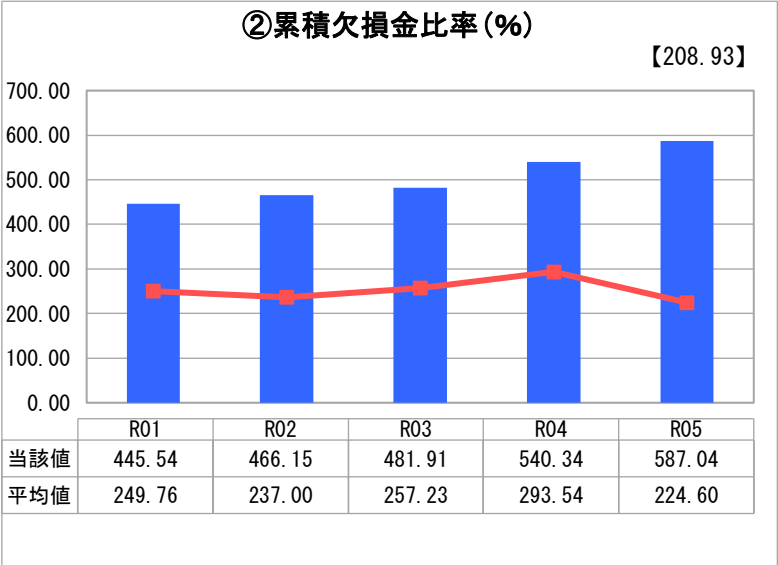
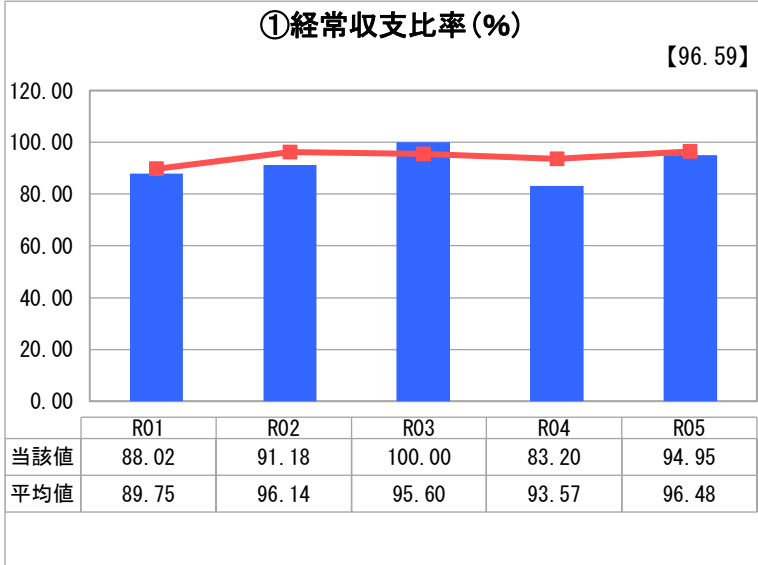
岡山県 美作市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	個別排水処理	L2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	14.44	2.01	100.00	3,223

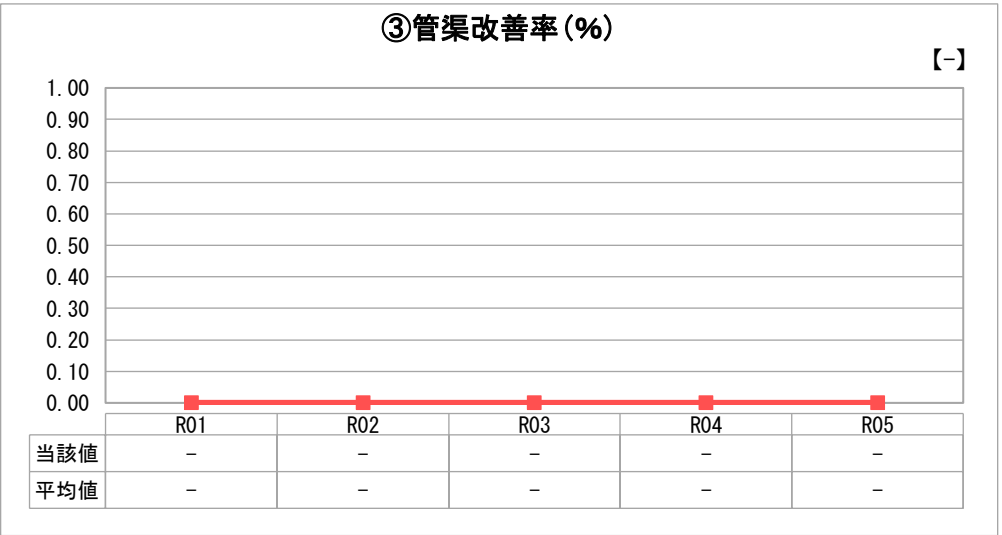
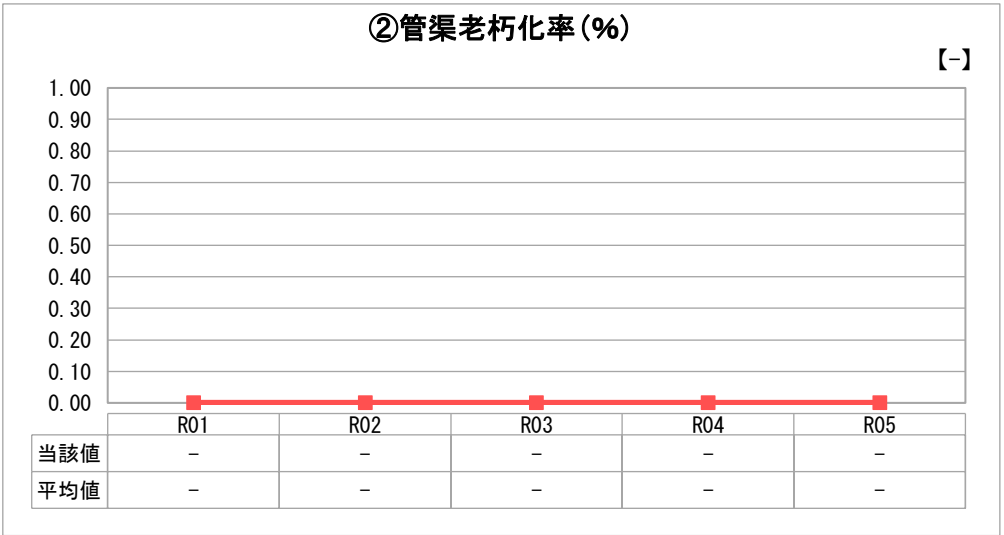
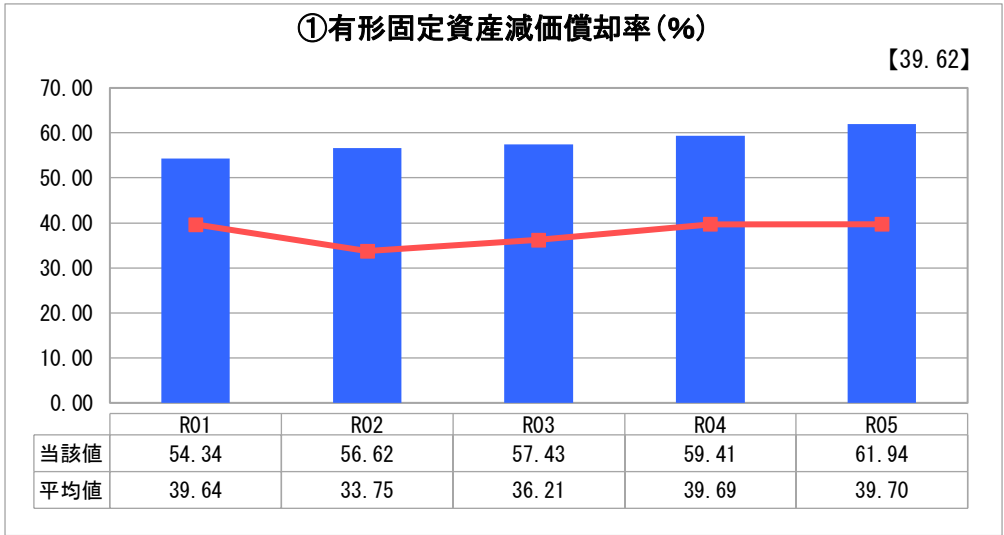
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
25,524	429.29	59.46
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
507	0.15	3,380.00

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率が前年度対比で11.75ポイント増加した要因は、他会計補助金の増加によるものである。

②累積欠損金比率が前年度対比で46.70ポイント増加した要因は、一般会計繰入金を現金ベースで算定しており、現金支出を伴わない減価償却費相当額の一部が繰入金で手当てされないためである。

③流動比率が前年度対比14.96ポイント増加している要因は、減価償却費や修繕費の増加により一般会計繰入金が増加したことにより、流動資産（現金及び預金）が増加したためである。

④企業債残高対事業規模比率が前年度対比1.72ポイント減少した要因は、企業債残高が減少したためである。

⑤経費回収率が前年度対比で0.51ポイント増加した要因は、下水道使用料が減少したものの、減価償却費の減少額の方が大きかったためである。

⑥汚水処理原価が前年度対比6.63円減少している要因は、汚水処理費（公費負担分を除く）が減少したためである。

⑦施設利用率が前年度対比1.56ポイント減少した要因は、晴天時一日平均処理水量が減少したためである。

⑧水洗化率が前年度対比で2.32ポイント増加した要因は、主に浄化槽の新規設置により、水洗便所設置済人口が増加したためである。

2. 老朽化の状況について

①資産の減価償却に係る有形固定資産減価償却率が前年度対比2.53ポイント増加している要因は、減価償却が進んだためである。類似団体と比較して比率が高く、老朽化が進んでいる状態といえる。継続的に適正な維持管理を行っていくことに加え、耐用年数に達した施設や設備について、計画的な更新が必要である。

全体総括

今後、人口減少に伴い料金収入の減少が見込まれることから、さらなる経費等の削減に努める。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。